

閉会挨拶

日本家庭科教育学会会長 赤塚朋子

日本家庭科教育学会会員の皆様、この3日間の2021年度第64回大会(オンライン開催)はいかがでしたでしょうか。家庭科教育研究の世界に浸り、充実の時間を過ごしていただきましたでしょうか。今大会は、口頭発表61件、大会参加者250人と昨年の大会より、多くの会員の参加を得ることができました。研究領域は、家族・生活設計、教員養成・教員研修、住生活、学習指導方法・カリキュラム、衣生活、食生活、消費・環境・SDGsと多岐にわたりました。ご来賓の皆様、研究発表をしてくださった会員の皆様には、大会を活気あるものにしていただき、ありがとうございます。また、賛助会員の皆様には、出展のご参加をいただきありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

研究発表は、オンタイムでのパワーポイント等に基づく発表と、地区会代表者等による座長、理事会によるサポートのもと、両方向での発表会場の雰囲気をもちつつ、オンラインでの参加がしやすいというメリットを生かしました。

総会は、今回はzoomを使って開催することで、会員の皆様に直接ご審議いただくことができました。これまでに賜りました会員の皆様からのご支援に心から感謝申し上げます。

日本家庭科教育学会賞の授与式も開催でき、お祝いの気持ちを共有する豊かさを感じました。倉持清美先生、おめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。

講演・シンポジウムは圧巻でした。講師の佐藤真久氏をはじめシンポジスト、ラウンドテーブルの関係者の皆様にご協力いただき御礼申し上げます。また、実行委員会の岡田みゆき委員長をはじめ北海道地区の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

不備な点につきましては、ひとえに会長の責任でございます。ご意見をお寄せいただき、今後に活かしていく所存です。アンケートにご協力の程、よろしくお願いいたします。

この3日間、「やっぱり家庭科は面白い」が実感でした。今大会に参加された会員の皆様のお蔭です。ありがとうございます。理事の皆様には、新たな課題が次々と登場するなか、全会議が理事会として機能し、様々なアイデアやよりよい解決策を提示していただきながら前に進むことができました。新しい大会の形への進化も進み、学会の役割を改めて考える機会ともなりました。本当にお疲れ様でした。皆様が新たな学会の1歩を築いてくださいました。皆様の一員で本当に良かったです。今は、無事に、新体制に引き継ぐことができ、安堵いたしております。

会員の皆様、ありがとうございます。今後とも本学会のご支援をお願いいたします。最後に、大会声明を発表して、閉会のご挨拶とさせていただきます。